

【学校経営の基本方針】  
日本国憲法・教育基本法および大分県教育委員会・佐伯市教育委員会の学校教育指導方針に基づき、教師の願いや児童の実態を踏まえ、家庭・地域とともにある学校づくりをめざす。

＜教育目標＞  
ふるさと佐伯を愛し、身につけた知識や技能をもとに、自ら考え、判断し、行動する子どもの育成

【佐伯市教育委員会の基本構想】  
子ども像：自ら学び、友と学び、地域に学ぶ子どもたち  
学校像：安全で、活力に満ち、地域とともにある学校

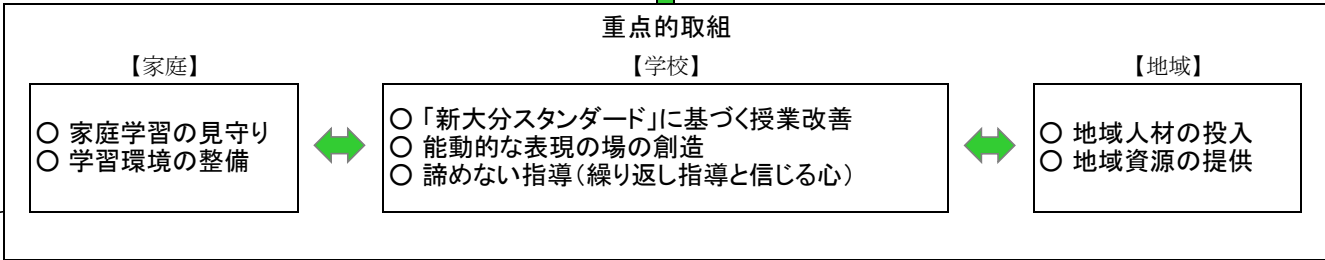
- めざす学校像**
- ①地域とともにある学校  
◇家庭・地域と協働して目標達成に向かう学校  
◇地域の伝統や文化に学び、大切にしている学校
  - ②子どもの命と人権を守る、安全・安心な学校
  - ③笑顔あふれる学校(明日も来たい、また来たいと思える学校)
  - ④挑戦し続ける学校

- めざす子ども像**
- ①身につけた知識や技能をもとに考え、判断し、表現できる子ども
  - ②学びに向かう力(学ぶ意欲・継続する力・協働する力)を身につけた子ども
  - ③互いの良さを見つけ、認め合える子ども  
◇気持ちのよいあいさつと返事 ◇相手や場に応じた言葉づかいや態度  
◇いじめをしない・させない・許さない姿勢
  - ④健康でたくましい体と心をもった子ども

- めざす教職員像**
- ①子ども・保護者・地域に信頼される教職員(「誠意」「熱意」「専門性」)
  - ②子どもの手本となり、凡事徹底を体現する教職員(高い倫理性)
  - ③子どもに寄り添い、認め、励まし、褒めて、見守る教職員  
◇あきらめない指導 ◇柔軟性と創造力
  - ④目標達成に向け協働する教職員(報告・連絡・相談)

重点目標：学んだことをもとに自らの思いを伝え表現することができる児童の育成

- 達成指標：①「先生はわかりやすくていねいに教えてくれる」と回答する児童の割合を90%  
②「積極的に自分の考えを発表する(伝える)ことができた」と回答する児童の割合を90%  
③「親しみや感謝の気持ちをもって友だちや先生・地域の人にあいさつをしている」と回答する児童の割合を90%



幼児教育 佐伯市立佐伯幼稚園の教育目標：たくましい心と豊かな感性をもち、友だちと積極的にかかわりながら意欲的に活動に取り組める子どもの育成